いたちかわらばん

通刊 22 号　　鼬川・独川 / 川原番・瓦版　　03夏号

版画　宗森英夫　　慶長橋

水口山のミズキ

上の版画は、いたち川の支流（猿田川）にかかる慶長橋と長慶寺です。その後にある山、みのくちやま（水口山）は別名ふじやまとも呼ばれ、江戸時代から富士講が行われていた碑が残っているところです。「本郷ふじやま公園」として整備された今春、山頂近くの数本のミズキの大木が大枝を払われ、園路の脇で真新しい切り口をさらしていました。ミズキは5月頃に白い小さな花を密生して咲かせる落葉樹で高さが10メートルくらいにもなるので、花をびっしり咲かせる春にはよく目立つ木です。春先に枝を折ると水が滴り落ちてくるので水木と呼ばれ、このあたりでよく見られる木です。

4月の大雨の後に水口山に登って行くと、その日は天気が良いのにザァーと水が流れる音が聞こえるのではありませんか。どこから音が聞こえるのかと耳をすまして音のするほうへ行ってみて驚きました。

地面から1メートル程、直径40～50センチの切り口から滝のように水が勢いよくほとばしりでて、園路に流れ出ているのです。近くにあるもう一本の高い切り口からも水がまるで夕立の大粒の雨のよう・・・・こんなに勢いよく水を吸い上げる力はどのようなしくみになっているのか、こんなに豊富な水が何処にたまっているのか、不思議に思うと同時に「水口山と呼んだ昔の人も同じように思っていたのかもしれない」と感じました。

いたち川の水は山の木のこんな働きのおかげで涸れることなく流れ続けているのですね。（うぐいす）

切り取り線

この部分を切り取ってファイルすると便利です。

学校の活動報告（11）

本郷台小学校　3年1組　　川そうじをしたぞ～！！

わが本郷台小学校３年生では平成１４年度総合学習で「みんなといっしょにみんなのために、自分のできることを」という学年目標をもって取り組んでまいりました。

３学期になり、３年１組の総合学習の時間に、「この本郷台のまちのためにみんなができることは何かないだろうか？」と問いかけました。するとＴ君は、「いたち川の掃除をやりたい！」と意気込んで言いました。いたち川の大好きな子どもたちは、その意見にすぐ賛同しました。そこで、やるからには楽しくやりたいということで、ゲーム形式でやることになりました。グループに分かれて３つの賞を勝ち取るゲームです。３つの賞とは、「一番多くの種類のゴミを拾ったで賞」「一種類のゴミを一番たくさん拾ったで賞」「珍しい物を拾ったで賞」です。

いざ当日、われ先にといたち川へと向かいゴミ拾いがスタートしました。「こんなコーラの缶見たの初めて！」「たばこ１００本目！」「こんなにゴミがたくさんあるんだ。」 W君は川の中洲から少し離れたところにある草に小さなタイヤが引っかかっているのを見つけて、下半身びしょぬれになりながらも取りにいったのでみんなのヒーローになりました。あるグループは「先生すごいの見つけたよ！」とかけよってきて、見せた物はなんと５０ｃｍ以上もある大きな“鯉の死がい”でした。「絶対これで賞をもらうぞ！」といって重いのに友だち同士協力して学校まで持ち帰ったそのグループが「珍しいで賞」を獲得しました。

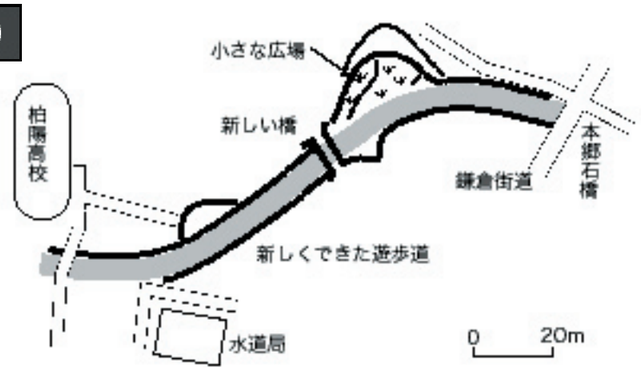
こうして楽しみながらまちのためにも貢献することができ、子どもたちにも良い思い出になったと思います。今まで作文が苦手だった子もびっくりするほど生き生きとした文を書いていたので、よほど心に残ったのでしょう。

これからも子どもたちが、「この町のために自分には何ができるのだろうか」と考え、身近なところで少しでも社会の役に立つ人になることを願っています。

◇◇◇◇　いたち川の工事だより

遊歩道が完成

８月から本郷石橋から小いたち橋まで川沿いを歩けるようになったよ。



発行年月 2003年7月
通刊22号
発行：独川ＯＴＡＳＵＫＥ隊（いたちがわおたすけたい）
ＯＴＡＳＵＫＥ隊事務局：栄区役所区政推進課企画調整係　〒247-0005 横浜市栄区桂町303-19
TEL 045-894-8331　FAX 045-895-2260
栄土木事務所下水道係　〒247-0007 横浜市栄区小菅ヶ谷 1-6-1
TEL 045-895-1411　FAX 045-895-1421
（お便り・お問い合わせは こちらまで）

長倉町小川アメニティが完成

長倉町小川アメニテイは2003年３月に整備工事が完了しました。

ここはいたち川の源流のひとつ天園ハイキングコースを分水嶺とした横浜霊園エリアと横浜自然観察の森エリアの２方向からの小川が杉木橋付近で合流しています。

長倉町小川アメニテイ整備事業に関して、「工事によって川の生き物が少なくなるのではないか、水鳥の餌場がなくなるのではないか」ということから当初は反対の意見がありました。一方で、４〜５ｍの深い谷は大雨の時は濁流となるため住宅地の擁壁や護岸の侵食が進んでおり、大地震が起きたときの崩落の危険性が指摘されていました。川に隣接する住宅の皆さんからは、これを機会に護岸工事をしてほしいという要望もありました。

地域住民のアンケートやワークショップを通して「地域の安全と自然保護に配慮した工事をしてほしい」ということで大方の意見がまとまりました。具体的に実現したことは、アメニテイのせせらぎの落差の大きいところは魚道となる構造にしたこと、金沢八景行きバス停近くにバス待ちに利用できるベンチ付きのあずま屋を設置したこと、川に並行する原宿六浦線の歩道が１.３ｍしかなく買い物への通行の際に歩行者と自転車が接触しそうなことがしばしばあることから歩道を４.３ｍに拡幅し、安全で快適に通行出来るようにしたこと、さらに重要なことはこれにより防災上の避難通路が確保されたことです。また、工事の途中で野七里小学校の生徒たちによる「長倉の池物語」の絵のサイン板作成や、セキショウの植付け、草木の名前札作成などの参加がありました。

愛護会の活動については、これまでの経緯から長倉町自治会の総会で住民参加が呼びかけられており、2003年の活動方針で次のように決議されています。

長倉町公園および長倉町小川アメニテイは自治会の生活環境の一部と認識し清掃に努め美化の推進をはかる。長倉町小川アメニテイ水辺愛護会の活動を通じて子供たちの活動の場としての利用をはかる。

こうして自治会清掃日の偶数月の第２日曜日は人手を割り振って小川アメニティ周辺の清掃を実施しています。奇数月は愛護会会員若干名が、そしてふだんの日は近隣の皆さんが清掃にあたっています。愛護会設立会員として署名いただいた方は８６名にものぼりました。

当水辺愛護会の活動はこんなスタートではありますが、野七里小学校の総合学習に地域の役割をどう進めるか、他の地域の水辺愛護会との交流を深めて、いずれイベント開催なども出来ればと、会員みんなで汗を流し、知恵をしぼって行こうと意気込んでいます。

小川アメニテイ上流の蛍の里として親しまれている横浜自然観察の森のせせらぎでは、今年もホタルがたくさん見られました。こちらのほうにもホタルが飛来しているのが観察されました。近い将来に長倉町小川アメニティでもホタルが繁殖するようになればと夢みています。

（長倉町小川アメニティ愛護会事務局　佐藤信夫）

写真は長倉町小川アメニティの清掃作業風景

リレートーク 12

いたち川道しるべ

昔の街道に建つ道しるべが今も残されている姿を目にすることがあります。最近いたち川のおもだった橋の傍に歩行距離を教えてくれるスマートな道しるべが建てられ3ヶ月ほどが経ちました。この頃は遠くの方からハイキングに訪れる人たちも多くなりました。

おたすけ隊の「散策マップ編集会議」のおりに「プロムナードに歩行者のための道案内を作ったら」というアイディアが出されました。その案を区役所が取り上げて「すぐやる課」的対応によって「道しるべ」は実現しました。台座に使用している赤レンガは下水道局が汚泥を利用して作ったハマレンガを提供してくれたそうです。

道しるべの前で目にした光景をいくつか紹介させていただきます。

道しるべを見つめて急ぎ手帳を取り出しメモする人、「まだ○○メートルしか歩いていないんだ、もっと歩いたと思ったのに…」と溜息をつく熟年のカップル。また、道しるべを見ながら「もっと歩かなくちゃ…」と次の橋に向け元気に歩き出す若い人達など様々です。

また、道しるべについての感想も「せっかく良い物を作るのだから、水辺で見られる鳥たちの写真を入れて時々差し替えできるスペースがあったら良かったのに」とか「お金を掛けずにいたち川の近くで採れた木材を利用したら自然の温もりを感じるものが出来たのでは…」との意見を耳にしましたが、ほとんど多くの人達は歓迎しているように見受けられました。

みんなに親しまれ愛される「いたち川」も少し静かになってきた様な気のするアヒルです、仲間がどこかへ行っちゃって…　（あひる）

いたち川で見られる植物 ❶

クレソン

（おらんだがらし）

西洋料理でステーキ等の付け合わせとして使われている野菜です。明治時代に西洋料理と共に日本に入ってきた帰化植物です。繁殖力が強く、茎を切って水辺に置くとたちまち根をおろして成長を始めます。そのため北海道から沖縄まで全国各地で野生化しています。

四〜八月頃、小さな白い花を咲かせます。花は小型十字状で、茎の先端に総状花序に密生してつきます。花弁は広いへら形で、先端は鈍形、長さ六ミリくらいです。葉は奇数羽状に分裂して互生します。頂小葉が最大で側小葉は一〜四対、下部のものほど小形になります。茎は緑色で中空、高さ五〇センチ以上になります。下部は横に伏して、節からひげ根を出します。ナズナ（ぺんぺん草）と同じアブラナ科の植物です。

いたち川では天神橋から上流で見られますが、昇竜橋付近では群生しています。　（いもり）